

### 九州工学教育協会50周年記念式典

九州工学教育協会創立50周年の記念式典が9月24日(火)午後1時より九州大学工学部本館大講義室で盛大に行われました。中武一明実行委員長の開会の辞、村上敬宜九州工学教育協会会長の挨拶に引き続き、日本工学教育協会佐々木元会長(日本工学教育協会椿原治専務理事代読)、学校会員を代表して九州大学梶山千里総長(前九州工学教育協会会長)、企業会員を代表して九州電力株式会社樋口隆啓取締役より祝辞をいただきました。その中から「九工教ニュース」初登場のお二人のご祝辞を紹介いたします。

\*\*\*\*\*

#### 祝 辞

(社)日本工学教育協会 会長 佐々木 元

本日ここに、九州工学教育協会が創立50周年を迎えられ、こうして記念式典が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

歴史を振り返りますと、昭和25年10月に米国工学教育協会に対し、日本工学教育に対する助言を目的とする、対日工業教育顧問団の編成派遣を要請し、昭和26年7月に15名からなる教育顧問団が来日し、視察のためこの福岡を二度も訪れております。これら視察の結果、8月23日に大学の工業教育についての団体を設立することを決定しています。昭和27年2月には日本工業教育協会設立準備打ち合わせ会議が開催されており、その中に九州地区代表として九州大学山田穰工学部長の名前が記されております。このようにして日本工学教育協会および九州工業教育協会を始めとする7地区工学教育協会が相次いで設立されました。

九州工学教育協会におかれましても、昭和27年に創立されて以来、半世紀にわたる工学に関する大学、高等専門学校や産業界との連絡を密にされながら、技術系人材の育成のための各種事業を通じて、主として地域工学教育の振興、ひいては我が国教育界並びに産業界の発展に多大な貢献をされて来られました。歴代会長を始め、会員の皆様方の並々ならぬご尽力に対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

しかし、21世紀を迎えた現在、経済の低迷を脱することはできず、国際的な地位も低下するばかりの危機的な状況にあります。我が国の国際競争力を興し、独自の天然資源の乏しい日本を再生するためには、製造業を核としての経済活性化以外に考えられないと思われまふ。競争力の源泉は人であり、世界的コスト競争を乗り越えて日本製造業が力を取り戻すためには、多様性に基づく工学教育の革新が求められており、このため、今、工学教育、中でも創造的で企業家精神に富んだ人材育成には、従来にも増して、大きな期待が寄せられてきております。

これらに答えるため、九州工学教育協会が、創立50周年を契機として、産学官の連携、教育を中心としての役割をよりいっそう果たされることを願ってやみません。

また、技術者教育の質的向上と国際的な通用性を確保する観点から、日本技術者教育認定機構における技術者教育プログラム認定制度の導入に関し、さらには会員の増強に関し貴協会のこれまでのご努力に対しまして、この機会に感謝申し上げる次第でございます。

最後に、九州工学教育協会のますますのご発展と本日ご列席の皆様方のますますのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



ンターネットを利用した e-Learning システムで九州工業大学の3キャンパス、熊本大学、有明工業高等専門学校に設けた会場に接続され、非会員を含む百数十名の参加で行われました。

特別講演では、大阪大学大学院工学研究科の大中逸雄教授が、「創造性および国際性教育」と題して、ご自身の実施例や外国の実状などを紹介されながら、これからの創造性および国際性教育のあるべき姿を興味深く講演されました。シンポジウム「これからの工学教育」では、日本工学教育協会の椿原治専務理事が、大学教官の最大関心事の1つである技術者認定教育制度と継続教育をとりまく周辺的话题を分かり易く整理して話され、三菱電機(株)の島田彌氏が、異分野相互交流を導入した産学連携教育、産学連携によるインターシップおよび教育TA制度などについて提案されるとともに、創造性教育における「拡大した仮説・検証(Abduction)」の概念について説明され、石川島播磨重工業(株)の剣持庸一氏が、企業におけるコミュニケーション教育の事例をご自身の体験を通して具体的かつ懇切丁寧に説明され、信州大学の山本洋雄教授が技術者教育への e-Learning の活用への取り組み並びに e-Learning の将来の可能性について示されました。講演のあと熱心な質疑応答が時間を超過して行われ、閉会后、九州大学ファカルティクラブで行われた懇親会の席まで続きました。

ご参加を!!

## J A B E E シンポジウム 「技術者教育プログラムの認定制度と J A B E E」

日時：平成15年1月31日(金)  
場所：九州大学創立50周年記念講堂大会議室  
主催：日本技術者認定機構(JABEE)、九州工学教育協会

- |       |                                       |                                |
|-------|---------------------------------------|--------------------------------|
| 10:00 | 挨拶                                    | 九州工学教育協会会長：村上敬宜                |
| 10:05 | 我が国の工学教育を取り巻く現状と将来                    | 文部科学省高等教育局専門教育課                |
| 11:00 | 経済社会ニーズを踏まえた技術人材育成施策について              | 経済産業省大学連携推進課                   |
| 13:00 | 大学評価の新時代を迎えて ----- JABEE が果たす役割 ----- | 工学院大学学長・JABEE 副会長 大橋秀雄         |
| 14:00 | 研究者・技術者に求めるもの                         | 新日本製鐵(株) 顧問・認定委員会委員 富浦梓        |
| 15:00 | 技術者教育プログラムと JABEE 認定審査                | 九州大学大学院教授・JABEE 基準試行委員会委員 落合英俊 |
| 16:00 | 熊本大学における技術者教育プログラムと評価                 | 熊本大学工学部教授・学務委員長 山尾敏孝           |

### 参加要領

- ・参加費：無料(会場の都合上100名で締め切らせていただきます。)
- ・申込方法：氏名、所属学会、勤務先、連絡先(電話、e-mailアドレス)を記入の上、下記へ
- ・申込先：JABEE 事務局 (Eメール：office@jabee.org.jp, ファックス：03-5439-5033)

ご参加を!!

## 平成14年度九州工学教育協会総会・講演会

日時：平成14年2月6日(木)  
場所：九州大学創立50周年記念講堂大会議室  
プログラム：

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 13:00~14:00 | 総会・九州工学教育協会賞表彰式 |
| 14:00~17:00 | 講演会             |



.....

## 九工教の動き（平成14年1月～平成14年6月）と今後の予定

.....

平成14年7月23日(火)12:00～13:00 平成14年度第1回理事会（於三菱電機福岡事業所）  
平成13年度決算報告に関する件／平成14年度役員に関する件／平成14年度事業計画(案)に関する件  
平成14年度予算(案)に関する件／九州工学教育協会創立50周年行事（案）について／その他

平成14年7月23日(火)施設見学会（参加者34名）

(1) 三菱電機株式会社九州支社パワーデバイス事業統括部福岡事業所

(2) 九州大学新キャンパス予定地

平成14年9月24日(月)13:00～19:30 九州工学教育協会50周年記念行事

(於九州大学工学部大講義室 参加者：本会場90名ほかインターネットによるサテライト会場)

平成14年12月17日(月)11:00～13:00 平成14年度運営委員会（於九州大学）

運営委員会委員の交替に関する件／九州工学教育協会賞の選考に関する件／九州工学教育協会の運営に関する件（平成14年度会務報告，平成14年度決算見込み，平成15年度事業計画(案)，平成15年度予算(案)）／その他

平成15年1月7日(火) 第2回常任理事会（於九州大学）

平成15年1月31日(金) JABEEシンポジウム「技術者教育プログラムとJABEE」  
(於九州大学創立50周年記念講堂大会議室)

平成15年2月6日(火) 第2回理事会，総会，九州工学教育協会賞表彰式，講演会，懇親会  
(於九州大学創立50周年記念講堂大会議室)

.....

## 編集後記

九州工学教育協会創立50周年記念行事が終わり，次なる50年に向けて歩み始めました。その最初の行事が日本技術者認定機構（JABEE）との共催で1月31日に行うJABEEシンポジウム「技術者教育プログラムの認定制度とJABEE」です。工学教育および技術者育成に関する文科省および経産省の施策説明のほか，我が国の工学教育界をリードされている大橋秀雄先生と富浦梓氏のご講演を聞くことができます。ふるってご参加下さい。また，次週（2月6日）の総会講演会にも是非ご出席ください。

九州地区から日工教の工学教育賞や工学教育協会賞への応募が他地区に比べて非常に少ないのが気がかりです。締切も迫っています。積極的なご応募をお願いいたします。

(常務理事 井上雅弘) Tel: 092-642-3462, Fax: 092-642-7032  
E-mail: ino@mech.kyushu-u.ac.jp

九工教ニュースへのご投稿をお願い致します。内容は工学教育，企業内教育などに関するもので，皆様にお知らせしたいことならなんでも結構です。手書き文書，FAX，E-mailのいずれにても受け付けます。ただし，0.5～1頁程度におまとめ下さい。次号は12月の予定です。

九工教事務局：事務局長 早川泉

Tel: 092-642-3782, Fax: 092-642-3243